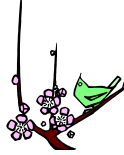


春がきた
ホケキョ!



浪花おふくろより心をこめて おふくろ便り vol.30

2011.2.25

大阪市中央区内本町 1-1-8
7F 728 021 ☎540-0026
06-4790-6200
otayori@728ofukuro.jp

クローバー・アセットマネジメント株式会社

～ 春を待つ冬の楽しみ ～

春の気配



立春が過ぎた頃から、家の近くの梅園のつぼみがふくらみ、2月半ば頃には、紅や白のかわいい花が次々に咲きはじめます。

梅園を観た後、ひな人形を飾るのが我が家の年中行事になっています。

高さ8センチほどの小さなお人形ですが、顔の表情や、着物もとても精巧で、娘と2人で箱から出し、ワイワイ言いながら飾り付けを楽しんでいます。ひな飾りは部屋をぱっと明るくしてくれます。

自宅の屋上に植えたチューリップの球根の芽が、パンジーの間隙からでてきていました。「忘れていない?もうすぐ咲くよ!」と私に声をかけているように思え、愛おしくなります。

皆さんなら、どんな時、何を見て、春の気配を感じられますか。

冬の存在

チューリップの球根は、冬の間地中で春に向けての準備を日々確実にしているのです。

幼い頃、寒い冬が苦手で、何で冬なんてあるのかなあ、と疑問でしたが、母に、「植物は、冬に根を張り花を咲かせる準備をしているから、この季節がなかったら、春になっても花は咲かなくて困るのよ。」と教わった記憶があります。

厳しい寒さや風雪に耐えたものだけが春に向けて花が咲く。ようやく今頃になって、冬の存在が気にかかるようになってきました。

これって人生に似ているように思いませんか。若い頃は、努力してもうまくいかなかったりすると、他人は楽々成功しているように見え、うらやましく思ったものです。それは、表に見えるものだけに心がいき、目に見えないものを見ようとしなかったからだと反省します。

花を育てるような投資

投資の世界では、投資を始めてすぐに、儲けたか、損をしたか、すぐに結果を欲しがるとの傾向にあります。それもほとんど努力せずに。

それって、自然界の営みとかけ離れているように感じます。違和感のある行動は自ずとストレスになります。そして、やっぱり損するからやめたという結果になりがちです。

私は、「長期投資とは種をまいて、水をやり、愛情を持って育て、実りを待つこと」と教わりました。

まさに花を育てるような感覚は、世話する喜びがあり、ストレスがなく、どんな花が咲くのかワクワクできます。またたとえ、はじめてのことでうまく育たなかったとしても、冬の時代にじっくり考え、知識を身につけ、軌道修正していくと、次のチャンスは必ず訪れます。

春を待つ冬の楽しみ



長期投資においては、この冬の存在をどうとらえるかがとても重要です。

ただただ損をしているから、元に戻るまで我慢して忍耐の塩漬けをするか、やがて来る春を楽しみに冬の時を充電期間と考え、じっくり勉強しながらゆったりと待つのか、同じように見えますが、実は心の持ちようが全く異なります。皆さんならどちらを選びますか。

冬の時代を楽しめる長期投資家をめざしていきたいものですね。

冬の間葉っぱを落とし、枯れたようにみえた梅の木に、つぼみがちらほらでてくるとき、生命の不思議さを感じます。年を重ねるごとに、そんな変化を楽しめるようになってきたなあと感じます。

人類の今日より明日良くなるとうとするエネルギーを感じ、目に見えないパワーを楽しみたいと思います。

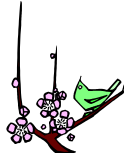
中井 朱美

このレポートは、浪花おふくろファンドの情報提供を目的としてクローバー・アセットマネジメント株式会社が作成したものです。このレポートに記載されたグラフ、図表、数値、経済見通しその他のいかなる内容も作成日時点のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。浪花おふくろファンドにかかるリスク、コストについての詳細、お申込み方法等については投資信託説明書(交付目論見書)および約款・規程集、ホームページ(<http://www.728ofukuro.jp>)をご覧ください。投資については、ご自身でご判断ください。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局(金商)第242号 社団法人投資信託協会会員



春がきた
ホケキョ!



おふくろ目線で企業を watching

～どんな会社に投資しているのか、もっともっと知りたい!～

組入れファンドの月次報告書より抜粋してみました

第30回は「大黒天物産株式会社」(東証2部上場)です

～TMA 長期投資ファンドの月次報告書より～



おふくろファンドはTMA
長期投資ファンドを通
じて「大黒天物産株」
に投資しています。

「少量のぜいたく品」と「多量の低価格商品」への二極分化...我が家も夫婦二人。量が減りました～

ファンドマネージャー・コメント

TMA 長期投資ファンドは、投資先の企業が「どんな会社なのか?」という、受益者の皆さんの疑問に答えるために、主たる投資先企業を紹介しています。TMA 長期投資ファンドが、どのように投資先企業に魅力を感じているかという点を紹介することで、受益者の皆さんが、よりよく当ファンドの投資姿勢を納得していただけたら幸いです。

なお、下記コメントは TMA 長期投資ファンドの基準日(2011.1.31)現在の組入れ銘柄の紹介であり、将来変更する可能性があります。また、特定の銘柄の投資勧誘を目的として作成したものではありません。

今回の企業は、食品ディスカウントストアを営む「大黒天物産」です。関東では馴染みが薄いものの、岡山県を中心に中国、近畿、四国地方に、食品中心のディスカウントストア(「ディオ」、「ラ・ムー」)を展開しています。

大黒天物産では、豆腐および食パンについては、自社で生産することで低価格化を図り、製造小売業化を進めています。これらの商品に加え、PB(プライベート・ブランド)商品により「エブリディ・セーム・ロープライス」を達成し、大手スーパーのPB商品と比べても安価な商品を提供しており、まさに、食品小売業界のディスカウントストアとしての地位を築いているのです。

どのように、ほかのスーパー各社よりも安く食品を提供できているのでしょうか?

それは、売上高に占める販売費および一般管理費の比率を、ほかのスーパー各社対比で低く抑えることで商品価格を引き下げることが可能になっていることがあげられます。平成22年5月期の売上高に対する販売費および一般管理費は17.2%であり、ほかの大手スーパー会社に比べて、相対的に低い水準となっています。

これは、取扱商品を絞り込むこと、チラシに合わせた商品配置転換を頻繁に行わないため人件費抑制に貢献していること、「ウィークリーマネジメント」により数値管理の徹底が図られていることなどが影響していると考えられます。

特に注目したいのは、一般的な食品スーパーでは、特売チラシを配布することで集客をするたびに、店舗の商品構成や配置を変えるための人件費がかかるため、コストの

上昇を免れなくなってしまうという現状です。逆を言えば、「毎日、変わらず、安い商品」を提供していれば、キャンペーンごとに店舗内の商品配置を変えることもなく、販売費および一般管理費が抑えられることになるわけです。

ところで、なぜ、わが国の食品小売において、低価格志向のディスカウントストアに注目するのでしょうか。

それは、今後、わが国の人口動態を考えていく上で重要なポイントとして、退職世代が増加することで収入が伸びない中、人口規模のわりに消費が抑制されると考えているからです。

今後、新興国で見られるような食品インフレが本格化してくれば、わが国家計の年金収入や賃金収入の上昇が期待できない中で、なおさら安価な食品を購入せざるをえないという傾向は強まると考えられるからです。

衣料品や家電製品だけではなく、食品分野においてこそ、高齢化の波は今後、より大きく小売業に影響を与えていくことになるでしょう。であるからこそ、このトレンドに対応するために、既存の食品スーパーの営業スタイルとは一線を画すところに、次代の新たな食品スーパー像が描けるわけです。

さらに言うならば、わが国の消費は、消費対象が、「少量のぜいたく品」と「多量の低価格商品」へと二極化していく可能性が高いと考えています。これは、生活者が日々の生活をする上で必要不可欠な食品において特に、高齢者や共働き家庭では少量で美味しい惣菜が注目されつつ、毎日の食材には極力出費を抑えるという二極化が進むことを意味します。

前者の惣菜を中心に伸びているスーパーの代表は、以前紹介した埼玉県地盤の「ヤオコー」であり、後者の食品ディスカウントストアの代表が、「大黒天物産」であると整理することが可能でしょう。ともに、既存のスーパーとは異なるスタイルを進めている企業なのです。

参考資料：平成22年5月期決算短信

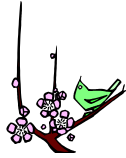
http://www.e-dkt.co.jp/ir/pdfs/library/tanshin_20100713.pdf

このレポートは、浪花おふくろファンドの情報提供を目的としてクローバー・アセットマネジメント株式会社が作成したものです。このレポートに記載されたグラフ、図表、数値、経済見通しその他のいかなる内容も作成日時点のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。浪花おふくろファンドにかかるリスク、コストについての詳細、お申込み方法等については投資信託説明書(交付目論見書)および約款・規程集、ホームページ(<http://www.728ofukuro.jp>)をご覧ください。投資については、ご自身でご判断ください。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局(金商)第242号 社団法人投資信託協会会員



春がきた
ホケキョ!



浪花おふくろより心をこめて おふくろ便り vol.30

2011.2.25

大阪市中央区内本町 1-1-8
770-201 〒540-0026
06-4790-6200
otayori@728ofukuro.jp

クローバー・アセットマネジメント株式会社



シリーズ：自分年金を作ろう！！

ホームページの「NOFukuro スタジオ」で連載を始めたシリーズを掲載していきます。ホームページは、**おふくろファンド**で検索してみてくださいね
<http://www.728ofukuro.jp>

～ 社会保険労務士・CFP[®] 石津史子～

～ある若者からのメール～

「母の年金を確認したい」



あるサイトで「年金ガイド」を務めていた頃のことです。ガイド人に直接メールで問合せができるというコーナーがありました。そこには週に数本の相談メールが届きましたので、内容に応じて制度の説明をしたり、具体的な手続きの方法やその窓口などを書いてメールで返信しておりました。

年金サイトは、「年金」に興味のある人が見るページ。だから相談者の多くは50代、60代でした。ところが、その日の相談者は26歳！珍しく若かったし、相談内容が自分のことではなく、「両親の離婚に際して、母が受けとれる年金について確認したい」というものだったので、とても印象的でした。

時期的には、ちょうど「離婚時の年金分割」に関する法律の実施日(2007年4月1日)が近かったこともあり、週刊誌の見出しやテレビ・ラジオの特集番組を見聞きしてメールしてきたのでしょう。

彼の両親の離婚日は、この法律が実施される前に成立していたため、彼の母は、サラリーマンだった夫の厚生年金を分割して受給することはできませんでした。この件について、彼と数回やりとりしましたが、最後にもらったメールの一文をご紹介します。

「年金は、高齢者のためにあると思っていたけれど、僕たち若者にとっても必要であることが、よくわかりました。自分の子にはこんな思いをさせたくないで、僕は、年金の保険料をきちんと払っていこうと思います。」



公的年金 + 自分年金で経済的自立をめざそう

彼の両親は、父親の60歳定年を前にして離婚することになったそうです。母親は、父親より5つ年下。結婚以来ずっと専業主婦で、二人の息子を育ててきたそうです。両親は5年ほど前から別居状態になったため、彼と同居していた母親もパートタイマーで働くようになったそうです。結婚して別所帯で暮らす兄と二人で、数万円ずつ出しあって母親の生活費を支えているのだそうです。

彼の母親の年金は、専業主婦時代の国民年金(基礎年金)だけ。34歳まで国民年金には任意加入をしていなかったため、年金月額が3万5000円ほどしかありません。仮に55歳から65歳になるまでの10年間国民年金の保険料を払いこんでも、月額5万円程度の年金にしかありません。

今後も約10万円のパートタイマー収入と二人の息子からの支援が続けば、一人暮らしは可能です。しかし、彼にとってこの数万円の負担は重く、「母親の年金さえもっと充実していれば、自分のために使えたはず」という苦汁が滲んで見えたメールだったので。

*

これは、彼だけの問題ではありません。先行きがますます不透明になりつつある公的年金。先行き不安があるからこそ「自分のことは自分で責任を持つ!」という気概と、行動が重要だと思います。

「自分年金を作ったから、子の世話にならず経済的に自立して生きていける」...こんな人生を、送りたいものですね

このレポートは、浪花おふくろファンドの情報提供を目的としてクローバー・アセットマネジメント株式会社が作成したものです。このレポートに記載されたグラフ、図表、数値、経済見通しその他のいかなる内容も作成日時点のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。浪花おふくろファンドにかかるリスク、コストについての詳細、お申込み方法等については投資信託説明書(交付目論見書)および約款・規程集、ホームページ(<http://www.728ofukuro.jp>)をご覧ください。投資については、ご自身でご判断ください。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局(金商)第242号 社団法人投資信託協会会員

